

おおいた

かはら版

vol.48

災害とは

～概論と実際～

大分県医療ソーシャルワーカー協会
災害支援部理事 徳丸 茂史

H28.3.27『災害研修』にて
講義を行う徳丸理事

巻頭言

熊本県、大分県で発生した大地震で、両県で被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

余震が続いており未だ余談を許さない状況ではありますが、一日も早い復興をお祈りすると共に、当協会におきましても関係機関との連携を図りながら、支援を継続して参ります。

今後の支援について

(公社) 日本医療社会福祉協会より、熊本県に対する支援協力についての依頼がありました。当協会としましては、災害対策本部を継続し、本活動を支援していく方針としました。

つきましては次ページの内容で、6月から被災地での活動を行って頂ける方を募集しております。

この場をお借りして、皆様にお知らせすると共に、多数のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

一般社団法人

大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元哲也

被災地での活動内容について

支援活動場所：避難所である熊本県上益城郡益城町総合体育館（熊本 YMCA が指定管理者）

支援活動期間：6月1日～7月末予定（変更の可能性あり）

支援活動日：①土、日、月、火、水、②水、木、金、土（応相談）

費用負担について：日本医療社会福祉協会指定のホテル代、熊本県内の移動のためのレンタカー代（ガソリン代を含む）は日本医療社会福祉協会が負担します。ただし各県から熊本空港までの交通費は各県協会または協力者個人での負担でお願いします。

益城町の交通はレンタカーでの移動になりますので、ご了承ください。

支援活動内容：
 ・避難所における生活相談、支援
 ・福祉避難所が立ち上がった時には生活相談員として支援
 ・避難所から仮設住宅等への移行支援
 ・その他、SWとして必要と思われる支援活動、連携活動

支援活動者：常時1～2名

支援活動の申請：大分県医療ソーシャルワーカー協会希望者の取りまとめを行います。

申請方法は協会ホームページの「最新情報」にてご確認ください。



平成28年度へ向けて

（一社）大分県医療ソーシャルワーカー協会社員総会

新年度へ向けた社員総会が介護研修センター大研修室にて行われました。年度末のお忙しい中、多くの会員の方にご協力頂き、すべての議案につきまして滞りなく審議を終えることが出来ました。

承認いただきました事業計画を基に、本年度も協会活動を進めて参ります。積極的な参加、ご協力の程よろしくお願い致します。

参加人数（総会員数264名、参加者44名、委任状131名）



年間活動計画

6 Jun 【地区コミュニケーション会議の開催】 東部・北部地区 6～7月

7 Jul 【初任者研修会開催】 第1回（全4回）6月

8 Aug 【MSW配置・状況調査アンケート実施】 7月

9 Sep 【初任者研修会開催】 第2回（全4回）8月

10 Oct 【リレーフォーライフ大分2016への参加・運営】 10月

11 Nov 【初任者フォローアップ研修】 第1回（全4回）10月

12 Dec 【「げんきフェア」への参加】 11月予定

1 Jan 【初任者研修会開催】 第1回（全4回）年11月

2 Feb 【公開セミナー開催】（全1回）12月

3 Mar 【スーパーバイザーフォローアップ研修開催】（全1回）2月

4 Apr 【地区コミュニケーション会議の開催】 中部地区 2月

5 May 【初任者研修会開催】 第1回（全4回）2月



研修部

研修部よりお知らせ

スーパーバイザー（実習指導者）養成研修休講について

当協会においてH19年度より開催しておりました本研修会ですが、今年度は休講とさせていただきますことになりました。休講期間を用い、協会の経験年数や到達段階に応じた専門職の育成を基盤とし、よりきめ細やかで体系化された初任者から上級者までの生涯研修体系を再構築し、H29年度

以降の研修再開を検討していきたいと考えております。今年度の開催を心待ちにいただいた協会員の皆さま方には大変恐縮ではございますが、今後も協会員の方々に望まれる研修の開催を行えるよう取り組む所存でございます。どうぞご了承ください。

（研修部）



2015.2.7 スーパーバイザーフォローアップ研修
「中堅期に焦点を当てた医療ソーシャルワーカーの成長過程」
立正大学 教授 保正 友子 先生



2015.2.28 公開セミナー特別講演
「スーパービジョン～スーパービジョンの新しい展望」
日本福祉大学 教授 田中 千枝子 先生

VOICE OF ROOKIE!

～ 新人の声をお届けします～

新人ソーシャルワーカーさんに協会活動についての感想を聞いてみました！

協会活動を通じて得た語り合える仲間

坂ノ市地域包括支援センター 房前有里

私は、専門学校卒業後、平成二十七年四月に社会医療法人関東会に入職し、坂ノ市地域包括支援センターへ配属されました。しかし、初任者の私は自分の支援はこれで良かったのか等々、不安を感じたり、悩みは尽きませんでした。

そんな中、ソーシャルワーカーとしてもっと学び、成長したいとの思いから協会活動に参加させて頂きました。

研修会でのグループワークや、リレーフォーライフ、初任者研修参加者が集つての親睦会を通じて、多くの仲間を得ることが出来ました。電話でのやり取りのみだったソーシャルワーカーたちと顔を合わせて語り合う事で、意外な一面を知ることが出来ました。

一人で抱え込むのではなく同じ仕事を担う者同士、それも同時にソーシャルワーカー業務に携わるようになった。自分と似

た境遇にいる者同士で顔を合わせ、悩みを吐露出来る場所、そして「ソーシャルワーカーとは何か？」という原点に立ち返らせてくれる学びの場所を、大分県医療ソーシャルワーカー協会は与えてくれました。

一人前のソーシャルワーカーになるには、まだまだ「経験」と「学び」が必要になると思いますが、この協会で得た先輩や仲間から良い影響を与えて貰いながら、一歩ずつ前に進めるよう頑張っていきたいと思えます。



研修部メンバー（左から石井さん・大牟禮さん・竹井副部長・溝邊さん・房前さん・間部さん）

報告！ 地区コミュニティ会議 豊後大野編

そこには新人とベテランをつなぐ MSW「あるある」



MSWの顔が見える関係構築と、やりがいの再確認を目的とした「地区コミュニティ会議（地区コミ）&懇親会」を2月20日豊後大野市で行いました。今年度、日田と佐伯に続き3ヶ所目の開催です。まだ1年目の新人さんから15年を超えるベテランの方まで、

「今思えば〇〇なこと」をテーマに、自由に語りあっていたいただきました。お茶やお菓子をつまみながら、普段聴くことのできない失敗談や印象深いケースの話に大いに盛り上がりました。夜の懇親会も笑いにつつまれながら深く語り合う充実した一日となりました。平

成28年度は、中部、東部北部圏域で開催する予定です。是非ご参加ください。



お酒が入ってさらにぶっちゃけトークが炸裂した懇親会（居酒屋大鵬にて）

理事動向

- 11月 8日 ボランティアセンター講師派遣（別府市会場）→井元会長
- 11月 21日 九州協議会、研修部会→井元会長、川野事務局長
- 12月 2日 ボランティアセンター講師派遣（玖珠町会場）→松尾副会長
- 12月 6日 梯税理士事務所、法人設立披露宴参加→井元会長
- 12月 13日 ボランティアセンター講師派遣（大分市会場）→高橋副会長
- 1月 26日 ボランティアセンター講師派遣（佐賀県会場）→川野事務局長
- 2月 11日 九州協議会会長会（福岡）→井元会長
- 2月 14日 大分県放射線技師会祝賀会→井元会長
- 2月 18日 ボランティアセンター講師派遣（玖珠会場）→松尾副会長
- 3月 1日 大分県高次脳障がい者相談支援体制連携調整委員→井元会長
- 3月 5日 ボランティアセンター講師派遣（佐伯会場）→中村理事
- 3月 16日 作業療法士協会第2回理事会→井元会長
- 3月 16日 「地域の助け合い活動推進事業」報告会



NEW FACE (4/1現在の会員数 264名)

- ・本田 裕香 大分三愛病院 介護センター
- ・吉原 郁子 大分三愛病院 介護センター
- ・鳥居 和朝 アルメイダ病院
- ・御手洗 将樹 曾根病院
- ・宮崎 友莉 高田中央病院
- ・中嶋 亜紀子 大分健生病院

